

多摩水道ウォーキングツアーの主な見どころ

工事現場を見学する

多摩北部給水所（仮称）は、清瀬小児病院跡地に建設中の新たな給水所です。平成28年度から工事を開始し、完成すると清瀬市全域、東村山市及び東久留米市の一部のお客さま約15万人に水をお配りする多摩地区の大規模給水所になります。現在は、配水池、ポンプ棟工事のほか、浄水場とつなぐための送水管工事を行っています。



【給水所の働き】給水所には、浄水場から送られてきた水をためておく配水池があり、時間ごとに変わる水道の使用量に応じて水量や圧力を調整しています。また、浄水場事故時等には、その貯留水を活用し、利用者への影響を軽減する役割を担っています。

震災対策を知る

清瀬元町浄水所は、地震による断水時に皆さまに水をお配りする**災害時給水ステーション**に指定されています。こちらでは、応急給水活動区域と浄水所を仕切柵で区分して、断水時に市職員等が迅速に応急給水活動が行えるようになっているほか、蛇口をひねるだけの操作で水が出る常設給水栓も整備しています。また仮設の給水栓を組立てて水を配ることもできます。本ツアーでは、応急給水活動の実演もご覧いただけます。

＜イメージ＞



本ウォーキングツアーは、**全コースを水道局職員がガイドしながら案内**します。また、参加者の皆さまにクイズに挑戦いただく等、**楽しく分かりやすく水道事業を説明**いたします！